

山陰の金融経済動向

(概況)

山陰の景気は、持ち直している。

最終需要をみると、個人消費は、堅調に推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、緩やかに増加している。公共投資は、横ばい圏内で推移している。

製造業の生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては横ばい圏内で推移している。

この間、雇用・所得環境をみると、持ち直している。

1. 最終需要の動向

(1) 個人消費

個人消費は、堅調に推移している。

- 百貨店売上高は、横ばい圏内で推移している。量販店売上高は、堅調に推移している。ホームセンター販売額は、弱めの動きとなっている。
- 家電販売額は、持ち直している。
- 新車登録台数は、横ばい圏内で推移している。
- 観光関連のうち宿泊客数は、堅調に推移している。

(2) 住宅投資

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

(3) 設備投資

設備投資は、緩やかに増加している。

- 短観の設備投資計画をみると、2025年度は、前年を上回る計画となっている。2026年度は、非製造業において店舗改装等がみられるものの、製造業において

前年の積極的な能力増強投資の反動がみられることから、前年を下回る計画となっている。

(4) 公共投資

公共投資は、横ばい圏内で推移している。

2. 生産の動向

生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては横ばい圏内で推移している。

- 鉱工業生産を業種別にみると、電気機械は、横ばい圏内で推移している。鉄鋼は、横ばい圏内で推移している。一般機械は、振れを伴いつつも、横ばい圏内で推移している。食料品は、横ばい圏内で推移している。紙・パルプは、弱めの動きとなっている。木材・木製品は、横ばい圏内で推移している。繊維は、横ばい圏内で推移している。

3. 雇用・所得の動向

雇用・所得環境をみると、持ち直している。

4. 物価の動向

- 消費者物価（生鮮食品を除く総合）は、鳥取市では前年比1%台前半のプラス、松江市では前年比2%程度のプラスとなっている。

5. 金融面の動向

- 金融機関（銀行・信用金庫計）の総預金残高（末残）をみると、前年を上回った。
- 貸出金残高（末残）をみると、前年を上回って推移している。
- 貸出約定平均金利（総合・ストックベース）は、緩やかに上昇している。

以上